

バックアップについて

ここでは、Windows10 にアップグレードする前に行っておくべき、バックアップについてご説明致します。

- バックアップ概要
- システムバックアップの手順

●バックアップ概要

Windows10 自体、以前の Windows に戻す機能が搭載されているものの、その機能が使用できるのはアップグレード後 30 日間だけとなっています。

Windows10 へのアップグレードする前に、重要なデータを USB メモリか外付けの USB ハードディスクなどの記憶媒体にコピーしておくことをお勧めします。

また、OS 標準の機能でシステムイメージを作成しドライブ全体のバックアップを行うことができます。パソコンに問題が発生した場合に、システムイメージから元の状態に復元することができます。

1. データバックアップ

バックアップを取っておきたいデータを別の記憶媒体にコピーして保存を行います。

データのバックアップ漏れや、データによってはフォルダ構成やアクセス権、ファイル属性などを保持しておかなければならない場合もあるので、注意してください。

2. システムバックアップ

現状の Windows の状態（設定も含む）を丸ごとデータ化（ドライブ全体の正確なコピー）してファイルとして保存を行います。

このファイルを利用することで、保存した時点の状態に復元することができます。

●システムバックアップの手順

【Windows 8.1】

1. 「Windows」 キーを押しながら「X」 キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「コントロールパネル」が表示されます。

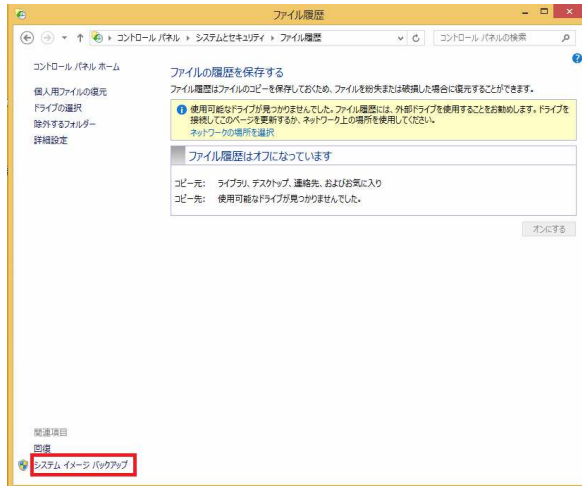
「ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存」をクリックします。



3. 「システムイメージバックアップ」をクリックします。

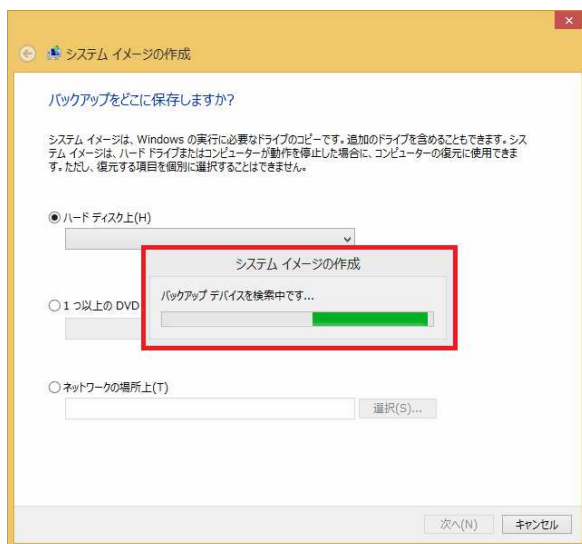
※DVD や BD に作成する場合は、先にメディアをドライブにセットします。

また、USB メモリや外付けの USB ハードディスクなども先に接続します。

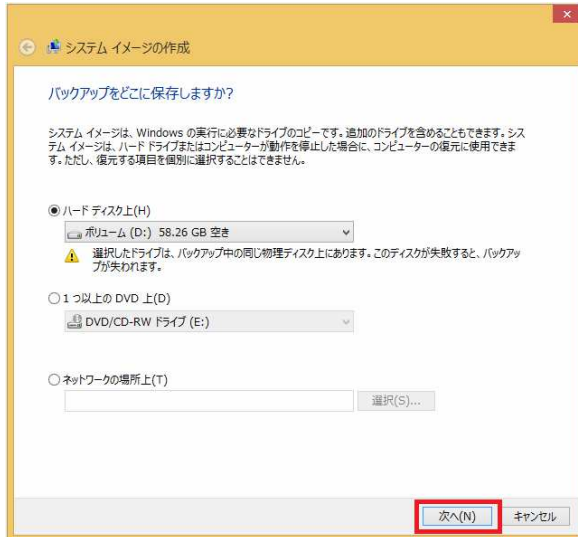


4. 「システムイメージの作成」が表示され、「バックアップデバイスを検索中です…」というメッセージが表示されたらしばらく待ちます。

※デバイスが読み込まれない場合は、再度手順3から行うか、各項目をクリックして「最新の情報に更新」をクリックしてください。

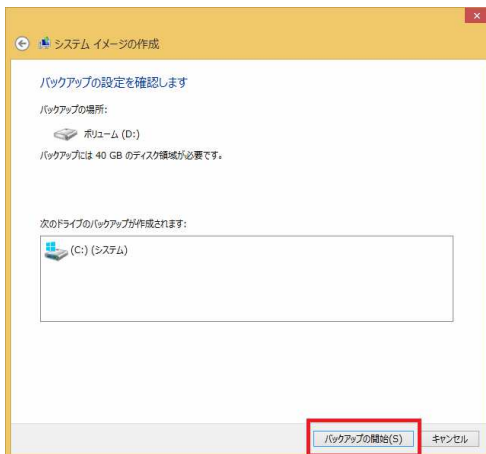


5. 「システムイメージの作成」で「バックアップをどこに保存しますか?」が表示されたら、該当する保存先をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
- ここでは、「ハードディスク上」を選択しています。

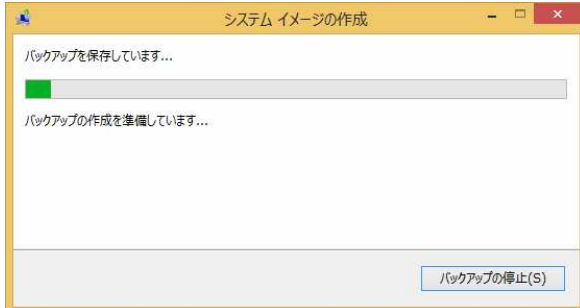


6. 「システムイメージの作成」で「どのドライブをバックアップに含めますか?」が表示されたら、対象に含めるドライブにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
- ※Windows の実行に必要なドライブは、既定で対象のため選択できません。
- ※この画面が表示されないときは、手順 7 へ進みます。

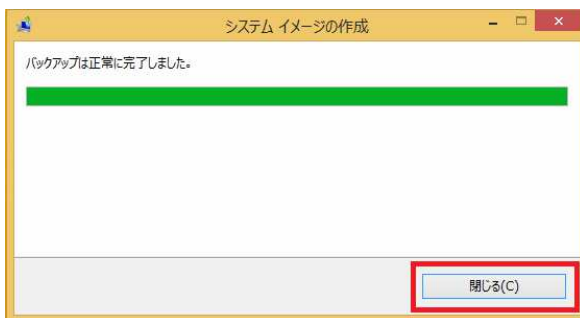
7. 「システムイメージの作成」で「バックアップの設定を確認します」が表示されたら、内容を確認し、「バックアップの開始」をクリックします。
- ※この画面で必要なバックアップの容量が表示されます。



8. 「システムイメージの作成」で「バックアップを保存しています...」のメッセージが表示されるので、しばらく待ちます。



9. 「システムイメージの作成」で「バックアップが正常に完了しました。」というメッセージが表示されたら「閉じる」をクリックします。



以上で操作完了です。

バックアップ先に「WindowsImageBackup」フォルダができたことを確認してください。

【参考】：マイクロソフト「Windows 8.1」でバックアップを取る方法

https://blogs.technet.microsoft.com/cs3_windows/2015/07/28/windows-8-1-2/

【参考】：マイクロソフト「Windows 7」でバックアップを取る方法

https://blogs.technet.microsoft.com/cs3_windows/2015/07/28/windows-7/